

珍

しいおみくじ



全国の社寺にはちよつと変わった、ユニークなおみくじがたくさんあります。そのひとつが「水神籤」です。たとえば、京都の水源地に祀られている貴船神社の「水占みくじ」は水に浸すことで文字が現れるようになっていました。貴船神社は水を司るとされる高禰神たかのみのかみを主祭神とする古社で、境内には枯れることのない御神水が湧いており、参拝者たちはおみくじをこの御神水に浸して吉凶を占います。

貴船神社の「水占みくじ」は近年さらに進化して、なんとQRコードが付けられているのです。これをスマートフォンなどで読み込むことで、英語・中国語・韓国語の多言語でおみくじの内容を読むことができるようになって

います。外国人参拝者の人气的となることもうなずけますね。なお、同様の水神籤は、全国でもいくつか確認できます。

東大阪市にある瓢箪山稻荷神社には「辻占おみくじ(やきぬき・あぶりだし)」という、世にも珍しいおみくじがあります。「おみくじ」は普通のおみくじと同じですが、「あぶりだし」はその名のとおり、火であぶると文字が浮き出てくるおみくじです。また「やきぬき」は紙の中央に描かれた瓢箪の絵の中に「火」の文字が書かれているのですが、そこに蠟燭などで火をつけると、火が紙を焼きぬいて占いの結果が現れるという変わりものです。神社では、火の取り扱いは十分注意するように呼びかけているそうです。

もうひとつ、近年多くの若者たちの間で話題となっているのが、大阪府松原市にある布忍神社のおみくじです。この神社の「恋みくじ」は、「吉」や「凶」という神のお告げが記されているのではなく、「撒収」や「別れよう」などの印象的な一言だけが書かれたおみくじです。考案者は言葉を用いた現代美術アーティストのイチハラヒロコさんです。インパクトの強い「ひとこと」が神のお告げとして、おみくじをひいた人の心を直撃するとテレビにも取り上げられてひとつのブームにもなっているようです。

QRコードを読み込むことでおみくじの内容を読むことができます。訪日外国人向けに多言語の対応も。
(↓P102)



やきぬき、あぶりだし、おみくじの3枚セットの「辻占」を授与している瓢箪山稻荷神社
(↓P104)



「恋みくじ」を目当てに参拝に訪れる女性も少なくない布忍神社。
(↓P126)

